

# 平成 27 年度入省予定 環境省総合職理工系

## 内定者の声



## はじめに

本紙は環境省総合職理工系内定者（H27年4月入省予定）が自主的に制作したものです。幅広い人材を求める環境省を皆様に知っていただくこと、環境省に興味を持っていただくこと、国家公務員を志す受験者の参考となること、を目的に制作する運びとなりました。ここに示した内定者の経験が、皆様の進路選択の一助となれば幸いです。

平成26年12月  
環境省総合職理工系内定者 一同

## 《本紙構成》

### 第一部 内定者プロフィール

#### ◆基本データ

（学科/専攻、試験区分、国家公務員試験合格年度、官庁訪問時期など）

#### ◆自己紹介

#### ◆志望動機

#### ◆環境省を志望されるかたへのメッセージ など

### 第二部 内定者の国家公務員採用総合職試験 体験記

### 第三部 内定者の官庁訪問 体験記

### 第四部 気になる噂の紙上相談会+総合職試験

※第一部のみ HP で公開しており、第二部以降は説明会等での配布のみとなっております。  
気になる方は、ぜひ環境省の説明会にご参加下さい。

## 《付記》

本紙内容に関する責任は、全て製作者である内定者にあります。また、各人の考え方、勉強法などはあくまで個人的な見解です。御理解の上、ご覧下さい。また、次年度以降の採用試験では、試験日時や英語試験の活用など、H26年度試験と一部違いが見られますのでご注意下さい。詳しくは、人事院 HP でご確認下さい。（人事院：<http://www.jinji.go.jp>）  
以上のことを、十分にご理解くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

もし、内定者に質問や相談等がございましたら、下記の連絡先までお気軽にご連絡ください。  
（環境省とは直接関係がないことにはご留意下さい。） **E-mail: [h26.env.rikou@gmail.com](mailto:h26.env.rikou@gmail.com)**  
内定者の期間ということで、平成27年3月31日まで承ります。

## 第一部 H27年度 理工系内定者のプロフィール

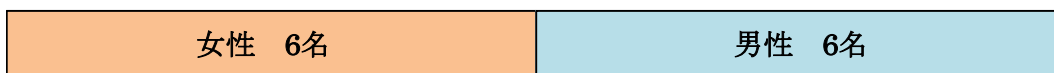
H27年度に入省する予定の理工系内定者は、全12名となりました！

これまでで最も内定者数が多く、また女性が半数を占めていることが特徴的です。

第一部では、内定者のプロフィールを記載試験区分ごとに順番に並べて紹介しますが、個人情報保護の観点から実名の代わりに各内定者のPN（ペンネーム）を記載しております。12名全員がそれぞれ違った個性的なキャラクターをしているので、本紙を読まれた皆様に、環境省が求める人材の多様性について感じていただければ...と思います。

### H27年度 理工系内定者の内訳

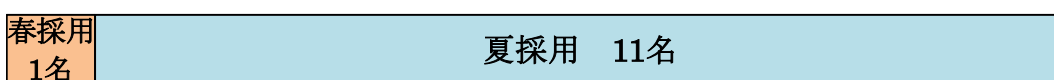
#### 《男女比》



#### 《学歴》



#### 《春夏比》



#### 《官庁訪問時の初回訪問日》



あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

PN : あやち

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専修】</b>	北海道・工学部 環境社会工学科 衛生環境工学コース
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	学部新卒・女性・21歳
<b>【試験区分】</b>	工学（大卒）
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	平成 26 年度
<b>【試験席次】</b>	下の中
<b>【官庁訪問時期】</b>	夏
<b>【説明会参加回数】</b>	6 回くらい？あまり覚えてない...
<b>【併願した省庁（第一クール訪問順）】</b>	経済産業省→環境省→厚生労働省

【就活のスケジュール】	
時期	内容
2011 年 4 月	学科分属のもと獣医学部に入ることを夢見る。 (動物のお医者さんに憧れて)
2012 年 4 月	ギリ成績が足りず、すごーく落ち込む。 獣医になれなかったら環境問題について学ぼうと思い、衛生コースへ。
2012 年 8 月	両親から国家公務員について聞かされ、環境省を目指し始める。 しかし、環境省インターンシップには落ちる。
2013 年 3 月	ここから先、行ける説明会があれば行くようになる。
2013 年 4 月	大学の公務員講座を受講し始める。
2013 年 8 月	前年度環境省内定者が OPEN ゼミで勧めていた 経済産業省インターンシップに参加。すごくよかった。
2014 年 3 月	勉強を本格的にやらなきゃやばいと焦る。
2014 年 4 月～7 月	院進学と悩みに悩んで悩みまくったすえ、内々定をいただく。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

### 【私はこんな人です】

- 動物好き、特に犬好き  
自然系もいいなーって思います。動物愛護法とか自然公園管理とかもチャンスがあればやってみたいです。  
昔ビーグル飼っていました。ビーグルかわいい。
- 「和もの」が好き  
神社！京都！和っぽいもの好き。高校の時のセンター試験も日本史選択でしたし、陰陽師とか妖怪とかも好き。

### 【趣味・特技】

- フェンサー  
高校 3 年間、フェンシングをやっていました。分かる人がいるかは分かりませんが、フルールを少々、メインはサーブルをやっていました。サーブルではカデ\*日本代表だったので、いろいろな大会に出させていただきました！  
\*カデ=年齢制限の一種で 13 歳～16 歳。日本では中学校 2 年生の早生まれ（1 月～3 月生まれ）までが出場できる。
- 漫画・ゲーム好き  
アニメはあまり見ませんが、漫画・ゲーム好きです。同志、求む。

### 【志望動機】

小さいころから動物が好きで、人間のせいで絶滅の危機に瀕している動物がいることがすごく悲しく、同時に人間に対して腹が立ちました。このままではいけない！と思い、森林伐採が進まないように紙の無駄を減らしたり、水が汚れないように残った汁物を流しに捨てないようにしたり（余ったドレッシングやラーメンの汁を飲むことは、健康的によい方法とは言えませんが...）といったことを、幼いなりに心がけているうちに、環境問題自体に興味を持ちはじめ、「こまめに電気を消す」「食べ物を残さず食べる」「物を長く大切に使う」といったことも、自然と心がけるようになりました。

しかし、成長していくうちに、自分ひとりがいくら努力しても環境問題は解決しないし、環境問題解決に積極的に行動してくれる人ばかりではないということを知りました。そのうえで、環境問題の解決には、興味がない人にも環境問題に取り組むような社会システムが不可欠なのではないかと考えるようになりました。

環境省は法律・予算・交渉...その他多くのアプローチ方法を持っています。また、日本の中だけでなく、世界的に働きかけを行うことができます。そして、環境問題であれば何でも取り扱っています。水環境・化学物質・廃棄物・地球温暖化・放射能...環境問題全般に興味がある私にはうってつけだと思いました。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

勉強をしているときや、進路について悩んでいるときは、本当に苦しいと思いますが、自分なりに真剣にやることができれば、後悔はないと私は思います。また、苦しいときは自分だけで消化せず人に話すことが大事だと思います。一緒に公務員試験する仲間がいればいいですが、そうでなくても、私は両親・親友・先生、誰にでも愚痴を吐き、相談しちゃいます。相談しても意味がなかった、そんなこともあります。でも、思いもよらない人からハッとする意見をもらってとんとん拍子に考えがまとまることもあります。少なくとも、1人で悶々と悩むよりは気持ちが楽になるはずですよ。志望者の方も説明会等で環境省の職員の方にも「こんなこと聞いていいのかな、頼んでいいのかな」と思わずに、どんどん話をしてどんどん相談して（いい意味で）利用してください！（少なくとも私は相談してもらえると、嬉しいです。）

思ったことをつらつら並べたので、何を言っているのか、だんだん分からなくなってきましたが、皆さんが納得のいく進路に行けることを願っています!!

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

PN：鯛

基本データ	
【大学所在地・学科/専修】	京都府・工学研究科 都市環境工学専攻
【学歴・性別・年齢】	修士新卒・女性・24歳
【試験区分】	工学（院卒）
【国家公務員試験合格年度】	平成 26 年度
【試験席次】	上位 10%
【官庁訪問時期】	夏
【説明会参加回数】	5 回程度
【併願した省庁（第一クール訪問順）】	環境省→国交省

## 【就活のスケジュール】

時期	内容
2011 年 11 月	部活動引退。マレーシアでの研究を通じて環境省を目指そうと思う。
2013 年 3 月	試験を受けてみようかと考えるも情報不足のまま時間は過ぎる。
2013 年 4 月	出願しそびれ、来年に思いをはせる。
2013 年 12 月	民間就活スタート！
2014 年 1 月	初めての環境省説明会で心奪われる。しかし民間就活で忙しく勉強は進まず。
2014 年 2 月	勉強スタート！
2014 年 5 月	なんとか一次試験合格。
2014 年 6 月末	最終合格→官庁訪問スタート！
2014 年 7 月	内々定をいただく。
2014 年 10 月	内定をいただく。「夢だけど、夢じゃなかった！」

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

### 【私はこんな人です】

#### ● THE★体育会系女子

「努力すれば必ず勝てるわけじゃない。でも、勝った人は必ず努力している」がモットーです。中学からずっとソフトテニスをしていました。髪型がベリーショートだったので、ジャージだと男の子に間違えられることが多かったです。

### 【趣味・特技】

#### ● 登山・サイクリング

自然にふれあいつつ体を動かすことが大好きです。帰宅してビールを飲むあの瞬間がたまりませんっ☆

#### ● 料理

ピザ、パイ、餃子などを生地から作るので「小麦粉の魔術師」とも呼ばれています。おつまみを作って、居酒屋をするのも大好きです。

### 【志望動機】

環境問題に関心を持ったのは中学生の時でした。気候変動のビデオを見て、「これめっちゃ暑くなってる！2050年？もしかして私、生きてるんじゃない？子供とか孫がいたらその世代はきっと大変だ！なんとかしなきゃ！」と思ったのがきっかけです。

#### 《なぜ公務員？》

民間企業、研究機関、NGOなどいろいろな環境に関わるステークホルダーがある中で、公務員にしようと思ったのは研究でマレーシアに行ったときでした。「環境？確かに大事だけど今は発展するのが優先！」そんな雰囲気を感じ、環境を考慮するということは産業にブレーキを掛けうること、win-winな関係を築かなければいけないということを痛感しました。その枠組みをつくる仕事に携わりたいと思い、公務員にしようと思いました。もともと国際協力にも関心があったのですが、調べるうちに、その中身を考えているのが公務員だと知ったのも決め手の一つです。

#### 《環境省の決め手》

- ① 人。
- ② 「環境を衛る」というベースがすべての仕事にある。
- ③ 時々刻々と変化する環境問題に取り組むやりがい。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

私は「環境省をめざそう！」と思い立ってから「何からすればいいのか...??」の時期が非常に長かったです。地方大学（私は遠隔地の研究室だったのでなおさらでした）にはそういう方も多いのではないかと思います。ぜひ積極的に説明会に参加してみてください。まじめな話ではなくても職員さんは気さくに話してくださいますし、大学や学部が違っていても同じ目標を持つ友達ができるというのは刺激にも支えにもなります。身構えずに、最初の一步を踏み出してみてください(\*^\_^\*)それはどの業界でも同じだと思います。みなさんにお会いできることを楽しみにしています！



あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

PN : タマ

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専修】</b>	千葉県・工学部 都市環境システム学科 ⇒東京都・情報理工学研究科 情報環境学専攻
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	修士新卒・男性・24歳
<b>【試験区分】</b>	工学（大卒）
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	平成 26 年度
<b>【試験席次】</b>	中の中
<b>【官庁訪問時期】</b>	夏
<b>【説明会参加回数】</b>	0 回
<b>【併願した省庁（第一クール訪問順）】</b>	環境省→警察庁→国土交通省

**【就活のスケジュール】**

時期	内容
~2013 年 7 月	漠然と公務員を志望しはじめた
2013 年 8 月	民間企業のインターンシップに参加してみる インターンシップが非常に楽しかったので民間に心が揺らぐ
2013 年 12 月	民間と公務員の両方を受けると決意 説明会に奔走する
2014 年 1 月	予備校に加入する
2014 年 3 月末	志望度の高かった某企業とはご縁がなかったので民間就活を辞める 公務員試験に集中
2014 年 4 月	試験に申し込み、1 次試験を受ける
2014 年 6 月	最終合格！官庁訪問の準備をはじめ
2014 年 7 月	環境省内々定！！

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T.T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

### 【私はこんな人です】

#### ● 経歴

高専→大学→大学院と専門を変えながら転々としている変わり者です。しかし、所属する学科・専攻の名前には常に「環境」の二文字があるのです！

#### ● まちづくりを専攻

大学院の専攻名からはイメージしづらいですが、所属している研究室はまちづくり系です。土木工学と建築学の双方からまちづくりを学び、今の専攻・研究室に行き着きました。地域の現場を見に行くのが好きで、主に農山村などの田舎に関心があります。

#### ● サークル

実家で長いこと猫を飼っているため猫好きです。そのため学部時は、キャンパス内の猫を管理するサークルに所属していました。猫はみんなに癒しを与える貴重な存在だと思っています。

### 【趣味・特技】

#### ● イヤホン・旅行・読書

イヤホンを比較試聴するのが好きです。他人からは共感を得られない趣味ですが、イヤホンにもそれぞれ個性があり非常に面白いです。再生する機器や、流す音楽によって違う表情を見せてくれます。旅行は、国内のベタな観光地をベタに楽しむのが好きです。海外にも沢山行きたいのですが現実（貯金）がそれを阻みます。読書は小説が好きで、ミステリーものを好んで読んでいます。

### 【志望動機】

#### ● 環境へのきっかけ

私は、地方の出身で農山村に囲まれて育ちました。身近に自然があふれ、友人とともに野山で遊んだ記憶が、価値観の根底にあります。一方で、新興住宅地などの宅地開発に伴い、近所の川からトンボや蛍などの生物が消えていくのを目の当りにし、人の手によって環境が変わる可能性があることを実感させられました。それらがきっかけとなり、環境への関心が芽生えました。

#### ● 環境省への決断

地域の環境を守りたいというのが、私の志望動機でした。しかし、官庁訪問で職員さんの生の声を聞き、環境省のスケールの大きさを感じました。地域から日本、そして世界へ、多様なスケール感で取り組める点が大きな決断材料になりました。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

官庁訪問は、私にとっては非常に勉強になる貴重な場となりました。環境省への理解を深めることが出来ただけでなく、他省庁との役割の違いをしっかりと把握することができ、納得の行く進路を選べました。これを読んでくださったみなさんも、なるべく多くの省庁をまわり、全力でぶつかってみると良い経験になると思います。でも、最終的には環境省を選択してほしいですね。(笑)

あやち	鯛	タマ	うなぎちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ眼鏡	マヒール	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	--------	-------	------	----	------	------	-----	------	-----

PN：うなぎちゃん

基本データ	
【大学所在地・学科/専修】	東京都・工学部 都市工学科 都市環境工学コース
【学歴・性別・年齢】	学部新卒・女性・21歳
【試験区分】	工学（大卒）
【国家公務員試験合格年度】	平成 26 年度
【試験席次】	上位 10%以内
【官庁訪問時期】	夏
【説明会参加回数】	3 回（霞ヶ関オープンゼミ・前夜祭企画・一次試験合格者用説明会）
【併願した省庁（第一クール訪問順）】	環境省→国土交通省→経済産業省

## 【就活のスケジュール】

時期	内容
～2013 年 8 月	大学院に進学するつもり満々で、大学生活を自分なりに enjoy する。
2013 年 8 月	外務省にインターンし、院に行かないのもアリかな...と思い始める。
2013 年 10～12 月	いろいろな職業の方々に話を聞きながら院進と就職で迷う。
2014 年 1 月	国家公務員技術職の存在をここで初めて（←遅い）知る。（しかもなんか結構楽しそう！！）興味を持ったので即 OB 訪問開始。
2014 年 2 月	受験を決意。参考書を購入するも、1ヶ月前からで平気だよ♪という先輩の言葉を信じて遊ぶ。
2014 年 3 月	OB 訪問や説明会で、関心がさらに高まる。気がついたら1ヶ月前で急に焦りだす。月末頃からぼちぼち勉強開始。
2014 年 4 月～5 月	出願し、受験。合格。
2014 年 7 月	官庁訪問。内々定をいただく。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

### 【私はこんな人です】

- 人と関わるのが大好きです。  
小さい頃は重度の人見知りだったのですが、幸い今はその面影はないみたいです。おかげさまで、いろんな方にどんどんお会いできる就職活動をとっても楽しむことができました。ちなみに、人間だけでなく動物も大好きです。小さい頃は獣医か動物園の園長さんになりたかったほど。うなぎは食べる専門ですが。
- (一応) 吹奏楽歴 9 年  
パートはトランペットです。中高では吹奏楽部にて副部長をつとめ、大学でもサークルにて、ゆるゆる吹奏楽を続けていました。大学のサークルでは、合宿の企画運営のチーフをやらせてもらっていました。

### 【趣味・特技】

- 旅  
とにかく行ったことのない場所に行き、見たことのないものを見たい、そんな気持ちを満たしてくれるので旅行が大好きです。いろんな人生観の人と話ができるのも旅の魅力だと思います。ごちゃごちゃしたアジアの街や、綺麗な海で泳げる海辺が特に好きです。海のもっと奥まで行ってみたいくて、スキューバのライセンスも取りました。大学時代は均すと月一で旅行に行ったことになるようです。次の目標はラオスで象使いの免許をとること。
- 円周率  
特技とは言えないかもしれませんが、円周率を 100 桁まで覚えています。一時期 175 桁まで言えたのですが、もう忘れてしまいました。

### 【志望動機】

小学校の頃、タイのバンコクに 4 年程住んでいた経験があり、昔から漠然と途上国の開発に関わっていきたくて考えていました。当時のバンコクはまさに発展しているというか、街の中に活力が溢れていて、人々もとても明るく、希望を持って生活していたように感じます。しかしその裏では、大気汚染や水質汚染、ゴミ問題など、様々な問題が進行し、人々の生活環境が脅かされていました。途上国の人々の生活環境を守りたい、そのために公害を乗り越えてきた日本ができることはないか、そんな発想で環境省という選択肢を考え始めました。OB 訪問や説明会で話を聞いたりすることで、海外だけでなく日本国内にも環境を考慮すべき事例が数多くあることを知り、その問題に分野横断的に取り組むことのできる環境省に魅力を感じ、志望させていただきました。

官庁訪問にて、他省と本当に悩みましたが、最終的に環境省という答えを出すことができたのは以下が決め手でした。①自分のやりたいことができる職場だと感じたこと、②これからどんどん役割が大きくなっていく可能性のある省であるということ、そして、③小

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

さい省ならではの暖かい雰囲気が好きだったこと、の三点です。他省の成長環境や、明るく元気のよい雰囲気もとても魅力的に感じたため、簡単に決断をすることはできませんでしたが、自分が将来一番生き生きとしていられるのは環境省だと思い、内定を頂けたことに大変感謝しています。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

是非、満足のいく就職活動をして頂ければと思います。将来自分がここで働いている姿をイメージしてみてください。10年後、30年後、自分がどうなっていたいか、その上で今、どのような決断をすべきか、考えてみると良いと思います。悩んだら、人に聞けば良いと思います。親でも教授でも、OBの先輩でも、そして、環境省の職員でも。私は20人くらいの方に相談に乗ってもらいました。皆さん一人一人からのアドバイスが、最終的に私の決断を後悔のないものにしてくれたと感謝しています。あてがないなら、思い切って、こんな人紹介してくれ、と採用担当の方に職員を訪問したい旨のメールを送ってみてはいかがでしょうか。少なくとも私の会った環境省の職員は、一生懸命悩んでいる人にはできる限り手を貸してくださりました。とにかく、どんどん人に会って、自分の目で見えて考えて、悩み尽くしてください。その上で環境省という答えが出たのであれば、嬉しい限りです！

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

PN : (T\_T)

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専修】</b>	東京都・工学系研究科 都市工学専攻 都市環境工学コース
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	修士新卒・男性・24歳
<b>【試験区分】</b>	工学（院卒）
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	平成 26 年度
<b>【試験席次】</b>	一桁
<b>【官庁訪問時期】</b>	夏
<b>【説明会参加回数】</b>	2 回（一次試験合格者用説明会、学内説明会）
<b>【併願した省庁（第一クール訪問順）】</b>	環境省→経済産業省→財務省

**【就活のスケジュール】**

時期	内容
2013 年 12 月	民間、公務員の選択肢をもった状況で就活がスタート
2014 年 1～3 月	民間企業、10 個ほどエントリー そちらにかける時間が多くなり、公務員はとりあえず置いとく状況に
2014 年 4 月上旬	民間企業、玉砕 国家公務員を目指す決意が固まり、毎日十数時間の勉強生活が始まる。
2014 年 6 月下旬	マークシートにおいて困ったときの”4”が頼りになりすぎて、その勢いで二次試験まで合格。
2014 年 7 月	あれよ、あれよと内々定までたどりつく。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

### 【私はこんな人です】

- 学内の運動部入ったり、学外のイベント企画運営団体に入ったりかと思えば、次には学内の学術系の学生団体に入ったり。主将をしたり、平部員をしたり、団体の幹部をしたり。
- 「理屈っぽすぎてめんどくさい」
- 高校時代は物理が大好きでしたが、学部 2 年秋から環境畑に流れ着いていました。

### 【趣味・特技】

- スポーツ全般は好き  
剣道と野球系をやっておりました。最近は卓球に激はまりしています。まだ回転はかけられません。超攻撃的卓球を信条にしていますが、野球では打撃よりノックのほうが好きです。  
西武ライオンズが好きですが、配球とかをみたいので、私は自宅観戦派です。
- 学部後半から海外旅行が好きになり、色んな地域を十数カ国まわってきました。最近行って良かった国はロシアです。
- サブカルチャーを少々たしなんでおります  
しかし、同じ趣味だという人がいても、それはあくまで広義でしかなく、細かいところまで突き詰めると、どこか趣向に違いがあって、いつも完全にはわかり合えない、という悲しい運命を背負って生きています。

### 【志望動機】

学部 2 年秋から環境系の学科に配属されました。その頃から国家公務員、特に環境省という選択肢は視界の範疇にあった気がします。

卒論ならびに修士研究では、地球温暖化問題の国内対策に関するステークホルダー分析と、まあおおよそ社会学的な研究テーマを、「温暖化とか、ステークホルダーとか広そう」というぼんやりとしたイメージで選んでいました。そういったところ、どこかスペシャリストになりきらずに、ジェネラリストな志向をもっているところが、この公務員という選択につながっているようにも思います。

私の一番の転機は修士の夏、気候変動の国際交渉について学ぶ学生団体に入ったことだと思います。そこで、COP19@ワルシャワにも訪問する機会をいただき、気候変動問題が科学の問題でもありながら、いかに政治の問題でもあるかということを感じ、その政治・行政の分野の一人のアクターになりたいと思うようになりました。

もちろん、国として交渉するにはその前に、日本としての意見が整理されてないといけ

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	どべつ	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	-----	-----

ませんから、研究で得たことも役にたてられればいいなあと思っております。

また、民間の就職活動から一貫して、「この仕事が、広く世の中の人々の役に立っているのだという信念をもっていただけるかどうか」という気持ちをもっていました。

まとめてしまえば公益性の一言におさまるかもしれませんが、このような考えもあって、この環境省に導かれたのだと思います。

(志望動機というより、どうしてここに辿りついたかみたいな説明調になっていますね、すいません。。。)

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

環境という分野に携わることができるのは環境省だけではありませんし、もっと言えば公務員だけというわけでもありません。

ではその中で、公務員の役割とはなにか？国という大きな主体のことを考えながら、ルールメイクをするところだと思っています。また、そうしたなかで環境省の魅力とはなにか？「国益と地球益、環境と経済、明日と 100 年後、などなどを自分で考え、葛藤していけるところ。そしてときには社会の価値観からひっくり返そうとしていけるところ。」なのではないかと個人的に思っています。

官庁訪問では受け身にならず、自分の考えを思う存分にぶつけてみてください。そのなかで、他省庁にも訪問し、違った視点の方と話すのもきっと考えを整理、向上させる助けになるはずです！



あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

PN : みずパン

基本データ	
【大学所在地・学科/専修】	滋賀県・理工学研究科 環境都市（建築系）専攻
【学歴・性別・年齢】	修士既卒・男性・25歳
【試験区分】	工学（院卒）
【国家公務員試験合格年度】	平成 26 年度
【試験席次】	上位 70%程度
【官庁訪問時期】	夏
【説明会参加回数】	1 回 （一次試験合格者向け説明会）
【併願した省庁（第一クール訪問順）】	環境省→国交省

## 【就活のスケジュール】

時期	内容
2013 年 1 月	国家公務員に興味を持つ。でも、勉強時間をとれそうにないため断念。
2013 年 5 月	民間企業に内々定をいただくも、研究を行う中で、自分の本当にやりたいことは公務員でしか出来ないのでは？と考え始める。
2013 年 8 月	民間の内々定を辞退し、公務員を目指すことを決意！全力で謝罪。
2014 年 3 月末	共同研究の最終報告書を提出し、試験勉強に取り組み始める。 漠然と環境省を第一志望として考えるようになる。
2014 年 4 月末	一次試験。自己採点では悪くなかったのに油断。説明会に初参加。
2014 年 5 月末	二次専門試験。対策不足が顕著にあらわれ、派手に散る。 落ちたなーと落胆するも、社会勉強として面接・集団討議にも参加。
2014 年 6 月後半	まさかの合格通知が届き、焦りながら急遽準備。席次は予想通り散々だったが、せっかくの機会だから...と、震える足で官庁訪問へ。
2014 年 6 末	官庁訪問も含めて、東京生活を満喫する。財布の紐が緩くなる。
2014 年 7 月上旬	無事内々定をいただく。財布の残りを見て、泣く。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T.T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

### 【私はこんな人です】

#### ● 人と話すのが好き

人と話すことが何よりも成長につながると考え、とても大切にしています。その性格からか、アルバイトではバーテンダー、ゼミでは研究室長をしていました。最近は何れに人がおらず、知らず知らずに独り言を言っている自分に気づいては焦っています。

### 【趣味・特技】

#### ● プロ野球観戦

縁もゆかりも全くない埼玉西武ライオンズのファンです。ユニフォームを着て、一緒に西武ドームの外野席でとび跳ねながら応援してくれる人を募集しています。

#### ● サイクリング

かごと荷台のついている、いわゆるママチャリで琵琶湖一周を 5 回しました。今年こそはいい自転車を買って、楽をして琵琶湖一周、ゆくゆくは九州縦断などと考えています。

### 【志望動機】

もともと技術者として、持続可能な社会の実現に貢献したいと漠然と考えていました。そんな中、最新の省エネ技術を備えた建物の性能検証を行う研究を通して強く感じたことは、持続可能な社会には、省エネ技術の向上やエネルギーの増加という「ハード面の充実」だけではなく、その技術やエネルギーを使用する「人々の環境に対する意識や姿勢の変化」も必要だということです。その両方の推進が、公務員を志した理由です。

また、環境という分野は現在ほとんどの活動に密接に関係していることから、環境に対する取り組みには、国民・民間企業・各自治体・他国との連携が必要不可欠です。そうした様々なステークホルダーと協議や交渉の場を持つことができる国家公務員として環境問題に携わることが、持続可能な社会実現への実現に貢献する最も近道であると考え、環境省職員を目指すようになりました。

でも、最終的に決め手となったのは、官庁訪問中に職員の方と話している中で感じた、環境省の雰囲気と職員の方の熱意です！

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

公務員に限った話ではないですが、就職先を決めるときは「自分のやりたいことができる職場」ということと同じぐらい、「自分にその職場の雰囲気が合っているかどうか？」ということをお大事に思ってもらえれば...と思います。たとえ憧れの仕事であっても自分と合わなければ、何十年も長く続けることは難しいと思います。幸いにも、僕は官庁訪問中に環境省の雰囲気が自分に非常に合っていて「ここだ！」と感ずることが出来ました。

そうした判断のためにも、まずはいろいろな説明会等に足を運んで、各省庁や民間企業の雰囲気をすることをオススメします。僕はほとんどせずに後悔しましたが、噂や HP 上の情報だけじゃわからない本当の顔を知ることが、決断の助けになると思います。その上で皆さんが環境省を目指していただけるのであれば、大変嬉しい限りです！

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

PN：むら

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専修】</b>	
東京都・工学系研究科 原子力国際専攻	
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	
修士新卒・男性・27歳	
<b>【試験区分】</b>	
工学（院卒）	
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	
平成 26 年度	
<b>【試験席次】</b>	
中の上	
<b>【官庁訪問時期】</b>	
夏	
<b>【説明会参加回数】</b>	
6 回（説明会 5 回、政策シミュレーション 1 回）	
<b>【併願した省庁（第一クール訪問順）】</b>	
経済産業省→環境省	

**【就活のスケジュール】**

時期	内容
2013 年 7 月	博士課程へ進学せず、就職することを決める。 就職活動の時期を過ぎていたため、1 年在学期間を延長する。
2013 年 11 月	漠然と公務員を考え、説明会を回る。
2013 年 12 月	環境・エネルギーへの関心から、経済産業省と環境省のいずれかを目標に決める。
2014 年 1～3 月	経済産業省、環境省の説明会に可能な限り参加する。
2014 年 4 月	一次試験を受ける。自己採点の結果は概ね予想通り。
2014 年 5 月	二次試験を受ける。手応えは悪かったが無事合格する。
2014 年 6～7 月	官庁訪問。当初は経産省を第一志望としていたが、話を聞く中で環境省の方が合っていると考え、第一志望を変更。無事に内々定を頂く。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T.T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

### 【私はこんな人です】

- 環境・エネルギー問題への関心  
大学入学時から強い関心の元、講義や学生団体での活動に参加。大学院の研究では電力に関するシミュレーションをしています。
- アルバイト  
塾講師を4年以上続けています。数学、物理、化学を教えており、試験では非常に役に立ちました。

### 【趣味・特技】

- 天体観測  
中学、高校、大学（学部前半）と天文部に所属しており、星を見るのが好きです。お金がたまったらカメラや望遠鏡を揃えたいですね。
- ヴァイオリン  
小学生の頃に習っていて、今でもたまに弾いています。環境省の職員の方でも音楽を趣味にする人は多数いるようなので、誰かと合わせる機会を増やしたいと思っています。

### 【志望動機】

- 国家公務員を目指すまで  
大学で様々な講義を受け、環境問題は非常に多くの要素が絡み合った問題であり、特にエネルギーや経済とは切っても切れないものだと分かりました。その後、環境・エネルギー問題を学習・啓発する学生団体に入り、そこで議論する中で、地球温暖化を防ぐことが重要であり、そのためには発電方法やエネルギーの使い方を大きく変える必要があること、政策的な誘導が必要不可欠であること、市民の協力が必要であることを強く感じました。  
大学院では当初、大学に残って情報を発信できる立場になることを目指しました。しかし、東日本大震災が発生して科学者の信頼が低下した状況が続き、このままでは環境・エネルギー問題の解決の力になれないと考え、大きな政策に関与できる国家公務員を目指すことにしました。
- なぜ環境省か  
エネルギー政策に大きな影響力を持つのは経済産業省であり、初めは第一志望としていました。様々な仕事があるものの、あらゆる経済活動は環境が関わってくるため、自分の関心から大きく外れることは少ないと考えていました。  
しかし、官庁訪問で詳しく話を聞く中で、経済産業省と環境省では、経済と環境を両立する時どちらの立場で考えるかが異なる。自分の思いと違う立場でいると辛くなる、という話を聞きました。そこで、改めて自分が大事にするものをつきつめると、環境である、と思い、環境省を選びました。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

**【環境省を志望される方へのメッセージ】**

なぜ進学や民間ではなく公務員なのか。なぜ他の省庁ではなく環境省なのか。

官庁訪問ではこの質問が何度もされます。その中で答えがより深まっていますが、官庁訪問を始める前に自分なりに考えておく必要があるでしょう。初めはよく分からないのが当然です。生じた疑問については、是非、積極的に説明会や官庁訪問でぶつけてきてください。私たちもできる限り答えていきます！

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

PN：隠れ眼鏡

基本データ	
【大学所在地・学科/専修】	東京都・教養学部 教養系学科（生物学/環境研究専攻）
【学歴・性別・年齢】	学部既卒(官庁訪問中の6月に卒業)・女性・22歳
【試験区分】	化学・生物・薬学区分（大卒）
【国家公務員試験合格年度】	平成26年度
【試験席次】	上位1/4
【官庁訪問時期】	夏
【説明会参加回数】	環境省だけで5回程度
【併願した省庁（第一クール訪問順）】	環境省→文部科学省

【就活のスケジュール】	
時期	内容
2013年12月	民間の就職活動を開始。省庁の説明会にも初参加。
2014年1月	民間の説明会に通いつつ、国家総合職を第一志望に据える。 教養の試験勉強を始めるが、なかなか手に付かない
2014年2-3月	卒業論文のデータ処理とプレゼンに忙殺。試験勉強がおざなりになりながらも、予備校の択一模試&記述模試(論文対策)を受験。
2014年3月後半	民間の就活をかなり抑え、過去問を中心とした試験勉強に集中する。 専門試験が択一の段階で解けず、合格は危ういかと思われた。
2014年4月	民間の併願先で内々定を頂くが、そのまま試験勉強を継続。 毎日時間を計って問題演習をするがボーダーの点数しか出ない。
第一次試験	教養で時間配分に失敗し落ちたかと思う。 しかし自信のなかった専門試験で勘が冴えわたり命拾い。
2014年5月	卒論提出前のピーク。一次の合格発表後に二次試験の勉強を本格的に開始したが、専門の記述が全く分からず合格は無いと思ひこむ。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

第二次試験	かなりの強運なのか直前に勉強した部分が専門試験に出る。 論文試験と人事院面接も無難にこなす。
2014年 6-7月	卒論提出、総合職合格(まさか!)、官庁訪問スタート、大学卒業と少々パニックになりながら駆け抜ける。 環境省から内々定を頂く。

### 【私はこんな人です】

- 感情豊かで喋り好き  
大学時代にゴスペルサークルに所属していました。私が歌う時に大事にしていたことは、自分なりに解釈した歌のメッセージに同化し表現すること。公演後に、見知らぬお客さんから表情に訴えかけるものがあったとご評価いただいたこともあります。そんなゴスペルの影響で日常生活でも表情が豊かになりました。また喋り好きなので、話を振られると倍返しの事も多いです。官庁訪問でもある程度役に立ったと思います。
- 興味津々チャレンジャー  
教養学部環境のおかげか、大学時代は専門に傾倒し過ぎることなく幅広い興味を持って勉強していました。さらに語学留学、海外インターンシップ、交換留学と気の向くままに挑戦してきたお陰で、面接での話題に事欠く事はなく相手にも興味を抱いていただけたようです。自己分析と訪問カードのまとめ上げには苦労しましたが。

### 【趣味・特技】

- 博物館巡り(美術館・動物園・水族館など含む)  
展示内容(コレクション)はもちろんの事、各館がどのような工夫をして展示しているのかを見て回るのが好きです。学芸員資格を取得した経緯もあり、気がつくコレクションそっちのけで展示方法(順路構成や照明の当て方など)に集中してしまっている事もあります。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

### 【志望動機】

私には就職活動を行う上での軸が3つありました。

[Life:自分自身が生涯誇りを持って生き活きと活躍し続けられる仕事/職場環境であること]

[Global:自分の可能性を限定することなく、国内外問わず活躍できる可能性があること]

[Science & Environment:雄大な地球環境を守り、感動を発信し続ける使命を持つこと]

環境を守るという使命に共感できるのはもちろんのこと、業務のフィールドの広さ、行政手法の多様さ、若手から活躍できる職場環境などを知るにつれ、環境省がこの全ての軸に当てはまると判断しました。

※実際の面接ではもっと具体的に「環境教育や環境意識啓発に関わりたい」「国際交渉に関心があり、日本と世界の窓口となる行政官を目指したい」と話していました。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

進路選択に迷った時、私は自分が本能的に行きたいと思う方を選びました。

就職活動中には大学院に行くべきなのか、留学したいのか、民間企業に入りたいのか、はたまた公務員を目指してみたいのか...と色々な選択肢がありました。しかし私は大学院で勉強したい事が見つからない、留学しながら進学先を探してみたがピンとこない、どうしても入りたい企業ではないから ES も書きたくない...という状況に陥り、始めは全く想定していなかった国家総合職に流れ着きました。そして懇親会でお話した環境省の職員の方々が楽しそうだったな、という印象を糧に試験と官庁訪問に体当たりした結果、良いご評価を頂くことができました。官庁訪問で省庁を迷った時にも、最終的に自分が素直に行きたい方、最初に公務員に関心を持ったきっかけであった環境省に原点回帰することにしました。

ここまで私の「声」を読んで下さった方へ、壁にぶつかったら自分に素直に、直感を信じると良いかもしれません。もし環境省にピンときた方がいらっしゃったら、ぜひ挑戦してみてください。皆様に良いご縁がありますように、応援しています!



あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マービー	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

PN : マービー

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専修】</b>	東京都・薬学部 薬学科
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	修士（薬学なので6年制）新卒・男性・24歳
<b>【試験区分】</b>	化学・生物・薬学（院卒）
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	平成26年度
<b>【試験席次】</b>	真ん中くらい
<b>【官庁訪問時期】</b>	夏
<b>【説明会参加回数】</b>	1回（一次試験合格者用説明会）
<b>【併願した省庁（第一クール訪問順）】</b>	厚生労働省→なし→環境省

【就活のスケジュール】	
時期	内容
2013年4月	薬学科5年時に、試し受験をする。（一次で落ちる。）
12月	病院での実務実習を通して思うところがあり、国家公務員を志望する。
2014年4月	薬学科6年時に、院卒程度試験を受験する。
5月	自己採点の結果、落ちたと確信しG.Wまで遊びまくる。 その後、まさかの一次合格通知が届き、二次の勉強を始める。
6月	何とか二次を乗り越え、最終合格通知をいただく。 平行して、埼玉県の公務員試験を受験する。
6月～7月	官庁訪問を行う中で、厚生労働省から環境省へ気持ちに移る。
7月	埼玉県の採用面接を辞退し、環境省から内々定をいただく。
10月	無事に環境省から内定をいただき、就活終了～♪

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マービラー	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	-------	-----	------	-----

### 【私はこんな人です】

- 動物大好き（何でもあり!!いま飼いたいのは、カップとアリクイ）
- 調味料大好き（※減塩に目覚め、調味料をかけない食事に喜びを感じる今日この頃）
- 剣道を幼稚園から高校3年までしていました

### 【趣味・特技】

- バンジージャンプ（こんなに楽しい遊びはない）

### 【志望動機】

人の健康を守りたいという思いから、薬剤師を志しました。しかし、日々生活を送る中で、PM2.5 やアスベストなどによる健康被害が生じている現実には、強い懸念を抱くようになりました。健康に過ごしている人々が、環境のせいで病気になってしまうことは、あってはなりません。日本は、水俣病などの公害問題に直面してきましたが、PM2.5 などによる環境汚染は、世界規模の公害であると思っています。また、地球温暖化に伴い、異常気象、生物多様性の減少などが進行し、地球の健康問題も深刻化しています。将来的に、それらの問題が人々の健康を脅かすことは目に見えています。その一方で、私たちは、他の生物のことを考えず、生活に利便性を追求した結果、多くの生物に影響を与えています。地球の健康を守るためには、人と他の生物が上手く共存していける環境を作らなければなりません。

環境省の仕事は、日本だけではなく、世界も、現在だけではなく、未来も、そして、人だけではなく、他の生物の多様性にも着目した政策を行っているところが魅力的であると思います。その中でも、私が特に興味を持っている分野は、環境保健部の業務です。化学物質の種類は膨大であり、これから先も、生態系に影響を与える化学物質が多く出て来ると思います。しかし、薬学部で学んだ化学物質についての知識をさらに深めていき、健康被害、生態影響を未然に防止していきたいです。

私は人の健康だけではなく、地球の健康を守る薬剤師になりたいと強く思っています。そして、それを実現できるのが環境省であると思いましたので、環境省を志望しました。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

基本的なことかも知れませんが、仕事に対する熱意は最も重要であると思います。一度きりの人生を、環境問題の解決に捧げても良いという強い熱意のある方は、環境省の職員もしっかり評価してくれると思います。

試験、官庁訪問と大変かも知れませんが、頑張ってください！

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

PN：たくお

基本データ	
【大学所在地・学科/専修】	東京都・農学生命科学研究科 応用生命工学専攻
【学歴・性別・年齢】	修士新卒・女性・24歳
【試験区分】	化学・生物・薬学区分（大卒） / 教養区分（大卒） も合格
【国家公務員試験合格年度】	平成 25 年度
【試験席次】	上の中（教養区分は中の下）
【官庁訪問時期】	春
【説明会参加回数】	20 回程度
【併願した省庁（第一クール訪問順）】	経済産業省（二日目）春採用なので三日目はなし。

※次年度からの採用活動においては、春官庁訪問はなくなるそうです。

【就活のスケジュール】	
時期	内容
2012 年 6 月（学部 4 年）	友人が国家公務員試験に合格。自分も受ければよかったと後悔。
2012 年 7 月～8 月	大学院入試に向け、生命科学、英語を中心に勉強。
2013 年 2 月～3 月 （修士 1 年）	人事院の説明会に参加、環境省の志望を固める。 同時期に環境省の OB・OG を訪問、環境省により強い魅力を感じる。
2013 年 4 月～6 月	大学院進学。国家公務員試験受験、合格。 説明会、インターンシップの選考等。
2013 年 7 月～8 月	環境省、民間企業のインターンシップ参加。
2013 年 9 月～11 月	大卒程度試験教養区分試験受験、合格。
2013 年 12 月～翌年 3 月	民間就活が本格化。説明会、OB・OG 訪問、面接が増える。
2014 年 4 月（修士 2 年）	民間就活と並行して春期官庁訪問、内定。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

### 【私はこんな人です】

微生物学研究室で麹菌の研究をしています。最近では塩麹、もやしもんなどのブームで麹菌の知名度が上がって嬉しい限りです。でも酒乱なので日本酒はあまり飲めません。

高校時代の友人が私を評して曰く、「何事にも貪婪」。知らないことを知ること、わからないことを理解することが最大の喜びだと思っています。話を聞いたり本を読んだりして知識を吸収するのも好きです。

### 【趣味・特技】

見たことのないモノ、感じたことのないモノを見たり感じたりすることが大好きなため、海外旅行から散歩のような近場の旅行まで、とにかくどこかへ旅をすることが趣味です。また、他の人の経験を疑似体験できるため、読書も好きです。

特技と言えるほどではありませんが、自分の持っている知識や体験を人と共有することも大好きなため、プレゼンテーションはわりと得意です。

### 【志望動機】

子供の頃から、「石油を産む藻類の研究者になり、科学技術によって地球環境問題を解決したい」という夢を持っていました。その思いを実現するべく理系に進学したのですが、ある時、とある先生に「君の関心は、『どうやって地球環境問題を解決するか』であって、生物そのものは手段でしか無いのではないか？であれば、博士課程に残ることは薦められない。むしろ環境省などの道を考えてはどうか」と言われ、衝撃を受けました。「自分には研究者としての適性が無いのか」と、しばらく悩みましたが、環境省の説明会に初めて参加したとき、その仕事内容と私の夢との方向性が一致していることに感動し、「自分のやりたいことはまさしくここにある！」と、研究職ではなく環境省を志望することにしました。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

是非、説明会やインターンシップ、OB・OG訪問をして、環境省への理解を深めてください。環境省ってどんなことをやっているどんなところか、ということが具体的に分かっていたら、不安もなくなるし、志望する気持ちもずっと強くなると思います。就活は大変だと思いますが、頑張ってください。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピペット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

PN : ピペット

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専修】</b>	東京都・農学部 応用生命化学科 生命化学・工学専修
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	学部新卒・女性・22歳
<b>【試験区分】</b>	化学・生物・薬学（大卒）
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	平成 26 年度
<b>【試験席次】</b>	上位 1/3 くらい
<b>【官庁訪問時期】</b>	夏
<b>【説明会参加回数】</b>	3 回くらい
<b>【併願した省庁（第一クール訪問順）】</b>	文部科学省→厚生労働省→環境省

【就活のスケジュール】	
時期	内容
2013 年 8 月	国家公務員を目指すことを決意。とりあえず過去問を取り寄せてみる。
2013 年 9 月	一次試験の対策を少しずつ始める。
12 月ごろ	興味がある省庁の説明会に参加してみる。
2 月～4 月	民間の就活を数社受けてみる。全滅\(^o^)/
2014 年 5 月	2 次試験直前にモチベーションが 0 になる。笑 なんとか乗り切る。
6 月末～7 月	合格発表のあと、怒涛の官庁訪問... 毎日綱渡りしているような気分でした。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マービ <sup>ー</sup>	たくお	ピ <sup>ー</sup> バ <sup>ー</sup> ット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------------------	-----	----------------------------------	-----

### 【私はこんな人です】

- 好きな食べ物：玉子
- 好きな色：オレンジ
- 好きな映画：千と千尋の神隠し
- 好きな本：ぼくのメジャースプーン

### 【趣味・特技】

バレーボールが大好きです。中学の部活と、大学でちょろっとやっていましたが、今は観戦専門です。

あと、料理をすることと食べることも好きです。

### 【志望動機】

人が安心して暮らせる社会や環境の実現に役立ちたいという思いがあり、環境省の扱っている分野としては、環境保健（化学物質の安全管理や水・大気環境の改善など）にもともと興味がありました。しかし官庁訪問を通じて環境省の方からいろいろな話を聞いているうちに、環境保健に関わらずどの部署の担当する業務も人の暮らしの安全・安心に直結することに気づき、どの部署に配属されても前向きに仕事に取り組めると感じたことが決め手になりました。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

理系の中には試験の勉強はほとんどしなかった—という人が多いのですが、これから勉強をがんばろうと思っている人は、情報交換のためにもメンタルのためにも、一緒にがんばる友だちがいた方がいいと思います！笑

私はもともと環境問題や環境工学などを専門に学んでいるわけではなく、今でもいわゆる環境問題に直接関連した知識はほとんどないのでこれからたくさん学んでいかなければならないのですが、官庁訪問でお会いした環境省の職員の方々に惹かれて入省を決めました。なので、環境省だけでなくいろんな省庁を見てどこが自分に向いているのかを見極めるのも大切だと思います。がんばってください(^^)!

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

PN：なめこ

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専修】</b>	宮城県・理学研究科 地学専攻
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	修士新卒・男性・23歳
<b>【試験区分】</b>	数理科学・物理・地球科学（院卒）
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	平成 26 年度
<b>【試験席次】</b>	まん中ちょい上
<b>【官庁訪問時期】</b>	夏
<b>【説明会参加回数】</b>	9回（サマートライアル、前事務次官講演、政策シミュレーション含む）
<b>【併願した省庁（第一クール訪問順）】</b>	環境省→原子力規制庁→経済産業省

**【就活のスケジュール】**

時期	内容
2013 年 春	研究の傍ら、国家公務員を漠然と考え始める
2013 年 夏	環境省サマートライアルに参加
2013 年 秋～冬	就活セミナーや民間企業の合同説明会に参加。いろいろ考えた結果、国家公務員を第一志望、民間企業と博士進学で併願をかける方針を固める。年末に公務員試験勉強を本格的に開始
2014 年 冬～春	民間の説明会や ES、研究をこなしつつ勉強
2014 年 4 月	民間企業選考、TOEIC 対策、学振*書類作成、試験勉強の日々。一社から内々定をいただき少し迷ったが、一次試験前の二週間は研究室を休んで集中的に勉強。月末に一次試験。
2014 年 5 月	一次突破。二次試験前の四日間は研究室を休んで勉強
2014 年 6 月	政策課題討議と面接@さいたま市を経て最終合格。官庁訪問スタート
2014 年 7 月	環境省より採用内々定。

\* 学振：特別研究員制度。博士在学中に資金の援助がいただける。採用率は 25%程度。

あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T.T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ピバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

### 【私はこんな人です】

#### ● Earth's CORE

大学院で地球の核（地球最中心部の領域）について研究をしています。数マイクロメートルほどの大きさの物質を使って、数千キロメートル下の世界を模索するというもので、いわゆる基礎研究という類になります。大学内での実験がメインの一方で、学会でいろいろなところ（新潟、横浜、サンフランシスコなど）に連れて行ってもらえるのもうれしい。

#### ● スポーツ

小中で野球、高校大学は弓道ばかりやっていました。何かしらのスポーツが中心の生活をしてきた一方で、大学院ではとりわけ運動することもなく早くも一年半が。。

#### ● 本棚

大学時代に読書に目覚め、アパートの壁一面（の3分の2くらい）に本がびっしり。小説や新書に留まらず、弓道教本から保険会社の経営、ハクビシンの本からアイドルのフォトブックまでと雑多な本が並んでいます。好みを決めつけずに多様なジャンルの本を数多く読んできたことが自分の中でよい経験となっています。

### 【趣味・特技】

#### ● 弓道、読書、旅行、500円玉貯金、ゲーセン

学生時代に3年間かけて高さ10センチくらいの円柱型500円玉貯金箱を貯めきり、そのお金で人生初のヨーロッパ（イタリア）に行ってきました。ゲーセンで今アツいのは音楽ゲーム！音ゲー好きな方、入省を待っています！！（笑）

### 【志望動機】

小さなころから山村で虫とりやキャンプをしたり、磐梯や尾瀬といった国立公園に家族で行ったりなど、自然に触れる機会が数多くあった幼少期の中で「自然はいいなあ」と幼心に感じたのを覚えています。地球温暖化現象を学校で習ったことや、父親の影響で自然科学の学問に興味を持ち始めたことなどがきっかけで、理学部の地球科学系に進学しました。

地球科学を学んでいた矢先、福島第一原発事故により発生した放射能汚染を経験し、これが環境について考える大きな契機となりました。事故後に実家の郡山に戻った時には、鳴り止まないガイガーカウンターの中で疲れきった様子の母親は常にマスクをしていて、実家の窓ガラスの前には水の入ったペットボトルが敷き詰められていて（＝外部からの放射線を遮蔽する効果がある）、庭を掃除しようとしてコケの線量を測ると「えっ？9マイクロ？」等々、とても希望を持てるとはいえない状態でした。放射線量という目に見えない恐怖のために生活が一変するさまを間近に見て、私にできることは何なのか、迷走しつつも少しずつ考えるようになり、そうした中で国家の体制づくり、環境行政といったものに興味を持ち始めました。



あやち	鯛	タマ	うなぎ ちゃん	(T_T)	みずパン	むら	隠れ 眼鏡	マヒール	たくお	ビバット	なめこ
-----	---	----	------------	-------	------	----	----------	------	-----	------	-----

環境省の行政官を目指した理由は大きく三つあります。一つ目は、被災地域の復活に向けた取り組みに大々的に関わっていけること。復興に向けて何よりも必要なことは、放射線関連の問題を確実にクリアすることです。原発直下地域の除染の問題や放射性廃棄物の処理場の問題など、事故から3年半たった今でも未解決の問題はたくさんあります。それらの課題解決に向けた取り組みを国家の先導として行っていくことで、被災地域のさらなる復興を後押ししていきたいと考えています。二つ目は、地球環境を第一に考えられる場所であること。民間企業の方と数多く話した中で、環境保全を意識する民間企業は数多く存在するものの、いずれの企業でも最優先されるべきは利潤の追求であるという印象を受けました。一方で、環境省では地球環境そのものにダイレクトに向き合うことができます。放射能汚染の問題しかり、利益の有無に関わらず素直に環境問題の解決のために動ける場として、環境省は私にとって非常に魅力的でした。三つ目は理系の素養が活かせる場であること。大学院まで理学を学んできたこともあり、専門の内容をそのまま活かさないにせよ、社会人になる場合も現在までに学んだ自然科学的な物事の見方や考え方は何かしらの形で活かしていきたいと考えていました。科学的な根拠に基づいた政策の打ち出しが必要とされる環境行政において、自分が現在までに培った素養が活かせるであろうし、また大いに活かしていきたいと思っています。

#### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

- ・国語力はかなり大事だと思います。(個人的には英語力より大事かと)。自分は国語力が弱いと感じる方、特に理系の方などは、生活の中に読書を取り入れることをオススメします。
- ・他人がどう思うかという側面が色濃く出るのが就職活動だと思います。私は「相手の立場から物事を見る」ことの重要性を環境省の職員の方から学び、就活中は常に気に留めていました。周囲からアドバイスをもらうことだけは忘れずに行っておいた方がよいと思います。
- ・環境省は「多様な人材」を求めているそうですが、それは「自分のカラーを持っている人」ともいえるのかもしれませんが。今の段階でしかできないことに夢中になって取り組むことこそが自分のカラーを創っていくと思うので、後々悔いが残らぬよう、今やるべきことに一生懸命取り組んでみてください。